

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2025年11月20日

事業所名：児童発達支援 こぼんはうすさくら東久留米教室

対象人数(保護者)29人 回答者数 21人 回収 72.4%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21				はい。雨の日や猛暑日等、天気の変動により屋内で十分活動をしていただいております。	引き続き整理整頓・美化に努めて参ります。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1		3	たくさんの子に対し必ず目が行き届くよう手厚くフォローしていただいております。	日々職員の適正配置を心掛けております。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			5	こどもに分かりやすい環境になっていると思うが、入口の階段や部屋のドアの段差などがありバリアフリーにはなっていない。ただ、車椅子などの子ではなく、我が子を含め運動機能に不安がある子には適度な運動にもなるので問題とは思わない。 誰が見てもわかりやすい配置になっており、老若男女問わず様々な方が理解しやすい空間になっております。	皆様に安心して安全にご利用頂けるよう、声掛け・介助を行って参ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1			見学の際に、時間の経っている建物なのかなと印象がありました。 はい。	令和7年9月に壁紙を張り替えました。 引き続き施設内の美化に努めて参ります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				十分過ぎると言っても良いほど1人ひとりが手厚いフォロー、プロフェッショナルな対応をさせていただいております。	引き続きお子さま一人一人の特性に応じた療育を提供して参ります。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1		1	はい。	
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16	2		3		
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1		8	まだ利用してないので分かりません	
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1		7	まだ利用してないので分かりません	
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20			1	十分過ぎると言っても良いほど幅広い視野でフォローさせていただいております。	引き続き楽しみながら活動できるプログラムを構成して参ります。
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	2	9		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1				
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17			4		
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	3	8		
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	2			特に前澤先生は仕事だけの視点に囚われず自身の経験を通じて相談に応じてくださるので、とても説得力があります。	引き続き保護者様と足並みを揃えて、子どもたちと向かい合って参ります。
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	3		1		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	3				
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	5	9		
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20			1		
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2				
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		2		
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1	1	1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防 止マニュアル、緊急 時対応マニュアル、 防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル 等が策定され、保護 者に周知・説明され ていますか。また、発 生を想定した訓練が 実施されていますか。	13			8		
	㉔	事業所では、非常災 害の発生に備え、定 期的に避難、救出そ の他必要な訓練が 行われていますか。	12			9		
	㉕	事業所より、こどもの 安全を確保するた めの計画について周 知される等、安全の 確保が十分に行われ た上で支援が行われ ていると思いますか。	16	1		4		
	㉖	事故等(怪我等を含 む。)が発生した際 に、事業所から速や かな連絡や事故が発 生した際の状況等につ いて説明がされてい ると思いますか。	17			4		
満足 度	㉗	こどもは安心感をも って通所しています か。	21					
	㉘	こどもは通所を楽し みにしていますか。	20	1			いつもコパンの話題で持ちきりで、とても 楽しんで通所してます。	引き続き“楽しい”をたくさんご用意して お待ちしております。
	㉙	事業所の支援に満 足していますか。	21					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こぼんはうすさくら東久留米教室 児童発達支援				公表日	2025年 11月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	時々放デイのお教室を借りたりしています。 児発・放デイのお教室を上手に利用しています。 廊下や児発のお教室を使うなど日々工夫しています。	屋内で体を使った活動をする場合は、机や椅子等を壁側に寄せるなど、安全なスペースの確保に努めていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	7	職員間で休みを調整する等、日々の適正配置を心掛けています。	日によって多い日・少ない日がある。 上手に分配できるといいと思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	扉に指挟み込み防止カバーを付けるなどして怪我を防止しています。 段差がある個所では声掛けをして注意を促しています。	バリアフリーになっていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		活動中も清掃や消毒を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	4	気持ちを落ち着かせるための個別の部屋を設けています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	6		常勤者を中心に行われていると感じるが、情報共有が追い付いていない職員もいると感じる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	3	保護者様の評価表を元に会議で情報を共有し、業務改善に努めています。	接点の少ない保護者様と如何にして情報を共有していくかが課題である。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	4	定期的に会議を開催しています。 少しずつ改善されつつあると思います。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6	自社が運営する他の教室と情報共有・情報交換することで、業務改善に繋げています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	4	東京都が配信する研修動画や独自の資料を使って定期的に研修を行っています。	もっと研修の機会が増やしていかなくてはならない。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		職員間で定期的に情報を共有し、個々の特性に合わせた支援プログラムを作成しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		保護者とじっくり話してニーズや課題を抽出、それをベースに支援計画を作成しています。	ご家庭や幼稚園・保育園等での様子も踏まえて総合的に作成していかなくてはならない。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		サービス担当者会議で情報共有・意見交換を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		日々子どもに合わせて活動しています。子どもに合わせた支援計画を作成しているの で、それらをベースに療育を行っています。	職員全員が自ら考えて支援に携わることができるよう、情報の共有を確実に行っていかなくてはならない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	3		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		職員間で事前に打ち合わせをしながら活動プログラムを考えています。	個々の課題や特性を考慮した上で活動プログラムを考えていかなくてはならない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		マンネリ化・積み重ね、これらを考慮しながら、活動プログラムを考えています。	児童の通所曜日によって、同じ内容の活動が重なってしまうことがある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	集団療育の中に個々の課題克服に向けた活動を随所に取り入れて活動を行っています。	支援計画と活動プログラムを上手にリンクさせることが重要である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝礼後に別途打ち合わせを実施しています。	送迎等で稀に打ち合わせに参加できない職員もいる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	日々支援終了後に振り返りを実施、その内容に基づき記録を作成・公開しています。	時間の関係でその日のうちに振り返りができないことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々支援終了後に振り返りを実施、その内容に基づき記録を作成・公開しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		モニタリングの時期がずれないように、職員全員で確認・打ち合わせをしながら進めています。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	各種関係機関と情報を共有しながら、足並みを揃えることを意識して活動を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			全ての児童を網羅することはできていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		一部児童に関しては、学校との情報共有・連携が取れていると思います。	対象の児童をもっと増やしていかなくてはならない。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	7	2		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	2		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	3	適時参加しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答)	7	2	電話で情報を共有したり、会議に参加する等して場を設けています。	より密に連携を取り、質の高い療育を提供していかななくてはならない。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	決まった場所ではありませんが、公園等で交流があります。公園等で交流する機会があります。	他の施設や関係機関と、定期的に交流や活動を共にする機会が設けられるよう検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		WEB上のシステムや送迎時に情報を共有しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に必ず行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者様・ご本人の意向をベースに組み立てています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		新規作成時や見直しを図った際は、保護者様に詳しい説明を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		ご相談を受けた際は、適時電話や面談を実施して、助言や支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	5		現在積極的な支援は行えていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		保護者からの相談や申入れがあった場合は、タイムラグが生まれないよう、迅速な対応を心掛けています。	責任者が不在の場合の対応を前以て考えておかななくてはならない。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		WEB上のシステムを介して、情報を定期的に発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		施設内でのやり取りも児童の名前に伏字を使うなどして、個人情報保護に努めています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		個人情報の観点もありあまり積極的に実施できていない。 今後実施していきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	各種マニュアルを策定し、定期的に研修を実施するなどして職員に周知しています。	有事に備え更に訓練に充てる時間を増やしていかなくてはならない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		毎月定期的に避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	契約時、定期的にお子さまの状況を確認しています。	事業所としては、事前・定期的に確認を取っているが、職員全員に周知できるようになっていかなくてはならない。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	保護者様からの情報を元に、連携を取りながら柔軟に対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		職員全員に周知できるよう、職員間で声を掛け合っています。 ヒヤリハット発生時と同様の場面でも職員間で声を掛け合い注意を促しています。 定期的に研修を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			